

成年年齢引き下げ後の成人式について(案)

1. 方針

令和4年4月1日施行の改正民法により、成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられることを受け、今後（令和5年1月開催以降）の成人式対象年齢等について検討を重ねた結果、成年年齢引き下げ後の成人式について以下のとおりとする。

- ・ 成人式対象年齢：20歳（現行どおり）
- ・ 実施時期：1月【成人の日を含む3連休】（現行どおり）
- ・ 式典名：「草津市20歳のつどい」（案）
現行：草津市成人の日記念式典および20歳のつどい

2. 根拠

1) 18歳・20歳・開催のメリット・デメリット比較

	メリット	デメリット
18歳	<ul style="list-style-type: none"> ・成年年齢と合致し、社会人としての自覚を早期に形成 ・法的に会場での飲酒喫煙ができない（飲酒喫煙は20歳のまま） ・地元を離れているものは少ないため、参加者増加が見込める 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験や就職などの進路決定の時期と重なり、新成人および保護者双方に、心理的、身体的、経済的負担が大きい ・実行委員会の開催等による学業への影響の懸念 ・変更時期については、3学年が対象となるため、実行委員会の組織や開催方法の検討が必要 ・制服での参加が増えることによる着物文化に触れる機会減少の懸念
20歳	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおりで、混乱を招きにくい ・同級生との久々の再会の機会となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・法的に飲酒喫煙が認められるため、飲酒等を起因とした問題行動対策（暴れる、騒ぐ、急性アルコール中毒）の危機管理体制が必要 ・成年達成と合致しないため、「成人式」以外の呼称の検討が必要

○成年年齢は18歳に引き下げられるものの、飲酒や喫煙等が可能になる20歳において、名実ともに一般成人と同様の権利を行使し、義務を負うことに伴う自覚を促す節目の機会にできる。

2) 国・県見解

<成人式の時期や在り方等に関する報告書 主旨>

◆成人式の実施の方法については、各自治体の裁量によるもの

◆全市区町村を対象とした成人式の実施に関する調査結果について（回答数：1037）

●対象年齢について方針を決定している自治体 67

		回答数	%
全体		1037	100.0
1	決定している	67	6.5
2	現在検討中である	683	65.9
3	検討していない	287	27.7

●対象年齢

		回答数	%
全体		67	100.0
1	18歳（年度中に18歳に達する人）	2	3.0
2	19歳（年度中に19歳に達する人）	1	1.5
3	20歳（年度中に20歳に達する人）	61	91.0
4	21歳（年度中に21歳に達する人）	3	4.5
5	成人式は実施しない	0	0.0
6	その他	0	0.0

⇒決定している自治体においては、90%以上が20歳実施

●開催時期について方針を決定している自治体 94

		回答数	%
全体		94	100.0
1	1月（成人の日を含む三連休）	68	72.3
2	1月（成人の日を含む三連休以外）	7	7.4
3	3月（春休みなど）	0	0.0
4	4月・5月（ゴールデンウィークなど）	1	1.1
5	8月（お盆の時期など）	18	19.1
6	その他の時期	0	0.0

◆成年年齢引き下げに関する世論調査について

対象者：16～22歳 3,500名 40～59歳 1,500名

有効回答数：16～22歳 1,802名 40～59歳 958名

●成人式対象年齢

		16歳～22歳の年齢層		40歳～59歳の年齢層	
		回答数	%	回答数	%
全体		1802	100.0	958	100.0
1	18歳（年度中に18歳に達する人）	341	18.9	330	34.4
2	19歳（年度中に19歳に達する人）	135	7.5	60	6.3
3	20歳（年度中に20歳に達する人）	1295	71.9	527	55.0
4	21歳（年度中に21歳に達する人）	11	0.6	6	0.6

⇒どちらの年代も20歳が最も高く、次いで18歳

●成人式実施時期

		16歳～22歳の年齢層		40歳～59歳の年齢層	
		回答数	%	回答数	%
全体		1802	100.0	958	100.0
1	1月（成人の日を含む三連休）	1142	63.4	535	55.8
3	3月（春休みなど）	434	24.1	182	19.0
4	4月・5月（ゴールデンウィークなど）	130	7.2	87	9.1
5	8月（お盆の時期など）	53	2.9	86	9.0
6	その他の時期	25	1.4	45	4.7

⇒どちらの年代も成人の日を含む三連休が過半数を超えている

◆全国高等学校PTA連合会によるアンケート結果

加盟：3,963高校PTA 回答：2,183名のPTA会長

●成人式対象年齢

20歳：53.7% 18歳：26.6% 19歳：12%

◆日本財団による意識調査

全国の17～19歳男女800人対象

●成人式対象年齢

20歳：74.0% 18歳：23.9%

3) 県内各市町見解 (資料2参照)

◆全市町が、成年年齢引き下げ後も20歳での実施を検討

◆表明時期については、可能な限り他市町とあわせる

4) 全国の市町村動向

成年年齢引き下げ後の成人式対象年齢を20歳とすると公表している市町村

【政令市】

京都市、堺市、神戸市、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、仙台市、静岡市、浜松市、岡山市、熊本市、福岡市、北九州市

【その他】

埼玉県蕨市（成人式発祥の地）、戸田市、神奈川県逗子市、平塚市、座間市、愛知県西尾市、刈谷市、日進市、碧南市、幸田町、豊田市、豊橋市、岡崎市、栃木県栃木市、真岡市、浦安市、いわき市、立川市、八王子市、岐阜市、岐阜県海津市、福岡県古賀市、糸島市、中間市、松江市、高松市、豊中市、西宮市、奈良市、生駒市、宝塚市、枚方市、泉大津市、寝屋川市、静岡県内11市町、山梨県全市

5) アンケート結果

令和2年1月13日（月・祝）に開催された草津市成人の日記念式典において、参加した新成人に対し、成年年齢引き下げ後の成人式の対象年齢について、20歳と18歳どちらがよいかの調査を行ったところ、以下の通りの結果となった。

参加者総数：912名	
回答数：709名	<u>20歳での成人式希望者</u>
20歳：649名	<u>91.54%</u>
18歳：59名	
不明（中心に貼付）：1名	

3. 表明時期について

上述のとおり、成年年齢引き下げ後の成人式対象年齢については、現行どおり20歳とする。しかし、表明時期については、周辺市町との調整を図った上で、今夏を目途に表明を行うこととする。